

# 図書館だより



はつかいち市民大野図書館

No.24 2009年9月号

〒739-0478

廿日市市大野1328番地

TEL (0829) 54-1120

<http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

## 『農』を知って『食』をいとおしむ

この夏は日照不足が続いたため、野菜や果物の出来が悪く、じゃがいもやきゅうりといった、日々食卓に登場するものが1.7倍くらいの価格につりあがっています。一家の健康と家計をあずかる主婦または主夫としては、やりくりが大変ですね。

おまけに、ハウス栽培等での花粉媒介の仕事を担ってくれていたセイヨウミツバチが不足し、結実できなくなっています。なぜハチが急に減ったのでしょうか。一説によれば、伝染病や農薬より運動神経が麻痺し、帰巣感覚の喪失したのではないかとわれていますが、はっきりとした原因はまだわかっていません。

このような状況になって、改めて自然が恵んでくれた食物を、好きなだけ食べれる生活は、とてもありがたいことだと気がつきました。

私たちは、食料を供給してくれる農業にもっと関心を持ち、地球上の生物と共存するにはどうしたらよいか考える時期にきているのではないのでしょうか。まずは、農業に関する本を読むところから、はじめてはいかがでしょうか？

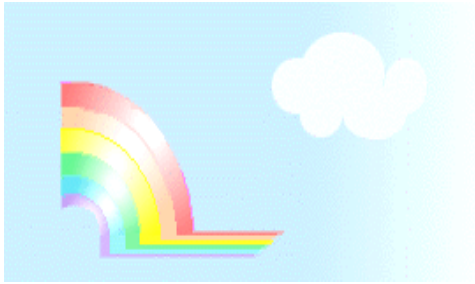
### ♪図書館員おすすめの1冊♪

絶望ノート (歌野 晶午/著)

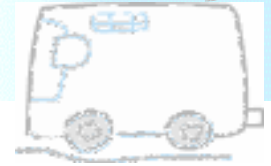
父親がジョン・レノン好きだったため、その息子の名前ショーンから『照音』と名づけられた太刀川照音。しかし、この名前からタチジョンと呼ばれ、いじめに遭う。壮絶なイジメを誰にも相談できない彼がとった手段は、『絶望ノート』と名づけた大学ノートにその恨みを綴ることと、校庭で拾った神様にみたてた石に、いじめるクラスメートがひどい目にあうよう願掛けすることだった。

前半部分は、照音の告白にこちらまで辛くなりますが、後半は一転、照音の人の心を操るしたたかさや、それに振り回される周りの愚かさに、人の業を感じます。

さらに怖いのは、図書館所蔵の本はフィルムコートがかけてあるのでわかりませんが、この本のカバーを外すと大学ノート＝絶望ノートと同じ装丁になっているそうです。絶望ノートを見てしまった恐さを、ここでもう一度味わえる、残夏にぴったりのホラーです。



# 移動図書館車たんぽぽ号巡回



## 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 たんぽぽ いもせ	3	4 たんぽぽ おおの	5
6	7 休館	8	9	10	11 たんぽぽ 吉和	12 おはな しかい
13	14 休館	15	16 たんぽぽ 鳴川	17	18 たんぽぽ おおの	19 読書会
20	21 西公図 書室は 休館	22 西公図書 室は休館	23 西公図書 室は休館	24 休館	25	26 おはな しかい
27	28 休館	29	30 月末 整理日			

### おおのコース(第1・3金曜日)

9月4日・18日 / 10月2日・16日

- ①8区集会所 10:10~10:25
- ②八坂一丁目 10:35~10:50
- ③鳴川(八坂神社下) 11:00~11:15
- ④梅原市営住宅 11:25~11:40
- ⑤対敵山集会所 13:10~13:25
- ⑥対敵山一丁目 13:30~13:45
- ⑦青葉台集会所 13:50~14:05
- ⑧柿の裏集会所 14:10~14:25
- ⑨宮島口上一丁目 14:30~14:50
- ⑩1区集会所 15:00~15:15
- ⑪2区集会所 15:25~15:40

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 たんぽぽ おおの	3
4	5 休館	6	7 たんぽぽ いもせ	8	9 たんぽぽ 吉和	10 おはな しかい
11	12 西公図 書室は 休館	13 休館	14 たんぽぽ 梅原	15	16 たんぽぽ おおの	17 読書会
18	19 休館	20	21 たんぽぽ 鳴川	22 たんぽぽ 大野寮	23	24 おはな しかい
25	26 休館	27	28 たんぽぽ 深江	29	30	31

### 吉和コース(第2金曜日)

9月11日 / 10月9日

- ①吉和保育園 10:45~11:05
- ②吉和公民館 11:15~11:45
- ③吉和学園 13:00~13:25

### 保育園コース(各巡回コースの水曜日)

10:30~11:30

- ①いもせ保育園(第1水曜日)
- ②梅原保育園(第2水曜日)
- ③鳴川保育園(第3水曜日)
- ④深江保育園(第4水曜日)

### 大野寮コース(第4木曜日)

13:30~14:00

移動図書館車

たんぽぽ号 今昔物語

前号に、移動図書館車にかかわった職員に聞き取り調査後、まとめて発表すると予告していました。しかし、なんとということでしょう！ アンケートを送ったものの、なかなか回収できない状況です。（移動図書館車で取りに伺わないといけないのでしょうか？）そのような中、巡回初期に在籍されていた杉山さんから、貴重なご意見と絵をいただきましたので紹介します。

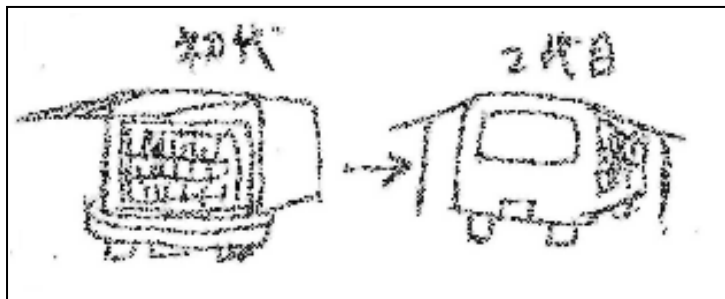
たんぽぽ号の巡回はどのようにして決めたのでしょうか？

保育所・集会所など町民が集まれる場所。

巡回初期のたんぽぽ号の様子

初代たんぽぽ号は、教育委員会のライトバンに本箱や本棚を載せて、約100～200冊くらい本を積み込みました。2代目からは両横開きの専用車になり、本も500～700冊積めるようになりました。『村のかじ屋』のテープをポータブルカセットで再生し、ハンドマイクを屋根に置いて拡声して、ステーションで流しました。

たくさんの町民にご利用してもらうために、土日の午前中に巡回していたたんぽぽ号！ でも、最初は小さな車だったことがわかりました。



初代及び2代目の移動図書館車を後ろから見た図

(杉山氏/画)

読書会

日時およびテキスト

◆九月十九日（土） 十時～十二時

夏目漱石著

『彼岸過迄』

◆十月十七日（土） 十時～十二時

見延典子著

『頼山陽①』

場所 廿日市市大野市民センター

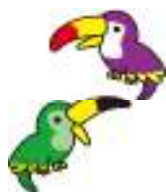
第一会議室

参加料 千円

参加のしかた等詳しい内容については、図書館までご連絡ください。

# 新しく入った本

8月から、はつかいち市民大野図書館に入った本です。  
お読みになりたい本が貸出中の場合、予約ができますので、カウンターまたはWEBからお申込みください。本が返却されしだい、連絡いたします。



## 《一般書》

日本の小説	悪党	薬丸 岳
	楠の実が熟すまで	諸田 玲子
	中学んとき	久保寺 健彦
	あの子の考えることは変	本谷 有希子
	ぼくが探偵だった夏	内田 康夫
	ここに消えない会話がある	山崎 ナオコーラ
	キルリアン	藤沢 周
	ころころ	畠中 恵
	黄金の猿	鹿島田 真希
	コイカツ	坂井 希久子
	武士道エイティーン	誉田 哲也
その他の文学	児玉清の「あの作家に会いたい」	児玉 清
	親友はいますか	渡辺 淳一
	寂聴幸運の鍵	瀬戸内 寂聴
	イエイツ詩集	イエイツ
その他の一般書	天皇はなぜ生き残ったか	本郷 和人
	日本の子どもの自尊感情	古荘 純一
	医療崩壊を超えて	田川 大介／編
	今こそ知りたい消費税	林 信吾
	社会学の扉をノックする	武山 梅乗
	康子十九歳の戦渦の日記	門田 隆将
	産後ママの心と体がらく～になる本	赤すぐ編集部
	本と私と筑摩書房	柏原 成光
	徹底検証「橋下主義」	読売新聞大阪本社社会部／編
	有機化学がわかる	齋藤 勝裕
	思い出の写真整理・保存・修復・活用法	瀬川 陣一
	七宝の技法	坂本 巨摩紀
	染色の技法	田中 清香
	中学軟式野球	
ソフトテニス		

## 《編集後記》

7月に出版された「康子十九歳戦禍の日記」という本を読みました。原爆投下された昭和20年に、広島市長だった粟屋仙吉の娘「康子」の日記と書簡に基づき、当時の状況をノンフィクションで綴られている本です。あの厳しい状況の中で、家族や友だちのことを想う康子の生きざまには感涙しました。粟屋家の人びとは、父・母・弟・めい、そして看病により康子自身も原爆症により命を落としてしまいますが、こんな愛に満ちた人びとに支えられていた広島、そして復興した広島を、これからも後世に伝えていかねばならないと思いました。